

科 目	地理 A	単位数	2	教科書・副教材等
学科・学年 コース	情報通信科 3 学年			教科書 地理 A（東京書籍）
履 修	必修	担当教員	1 人	

1 年間の学習目標

世界各地のさまざまな文化や風土などについて興味を持って理解し、現代国際社会の諸問題を考察するための基礎知識を身に付ける。

2 年間指導計画

月	大項目	単 元	到 達 目 標	評価方法
4 5 6 7	第 1 編 現代世界の 特色と見方・ 考え方	第 1 章 球面上の世界と地 域構成 第 2 章 結びつく現代世界 第 3 章 多様さを増す人間 行動と現代世界 第 4 章 身近な地域の国際 化の進展	地球儀やさまざまな図法の世界地図を使 って、正しい世界像を身に付け、それぞ れの図法の特徴を正しく理解する。 交通・通信の発達によって世界が一体化 している様子を考察する。 1 学期中間考査 先進国を中心とする経済発展の結果、 人々のライフスタイルは多様化し、労働時 間の短縮により、生涯教育やボランティア 活動への参加が増えているという現代世界 の特徴を考察する。 国際化が進展した結果、身近な地域の風 景や産業、身の回りの商品や食品にどのよ うな影響が出ているのかを自ら調査して、 身近な地域の国際化の実態を明らかにす る。 1 学期期末考査	学習観察 ノート テスト テスト
9 10 11 12 1	第 2 編 世 界 の 生 活・文化と現 代世界の課 題	第 1 章 世界的視野から見 た自然環境と文化 第 2 章 諸地域の生活・文 化と環境 第 3 章 近隣諸国の生活・ 文化と日本 第 4 章 さまざまな地球的 課題	写真や地図などを使って世界的視野から 自然環境を大観し、自然環境と人々の生活・ 文化を関連づけて考察する視点や方法を学 ぶ。 2 学期中間考査 異なる地域で生きる人々の生活や文化に 対して理解を深め、国際交流に必要な基礎 的な知識を身に付ける。 2 学期期末考査 近隣諸国と日本の共通性・異質性を考察 し、近隣諸国との交流を深めるための基礎 知識を身に付ける。 人口、食料、資源・エネルギー、都市、地 球環境など各問題の原因を考え、それぞ れの関連性を理解する。	学習観察 ノート テスト テスト 学習観察 ノート

2	第5章 地域から見た地球的課題 第6章 地球的課題をめぐる国際協力と日本	地域の実態を把握し、課題の要因を究明し、課題の解決には国際協力が必要であることを理解する。 地球規模の課題に対する地域による受け止め方の差異を理解し、国際協力を推進するために必要な知識・考える力を身に付ける。 学年末考査	テスト
---	---	--	-----

3 学期の評価について

1	定期考査の成績	(思考・判断、知識・理解)	60%
2	授業態度	(関心・意欲・態度、技能・表現)	20%
3	提出物などの課題の内容	(関心・意欲・態度)	20%

4 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	世界各地の文化・風土に対する関心を持ち、現代世界の諸問題を考えるための参考としていること。
思考・判断	世界的視野から現代世界の諸問題の原因やその解決方法を考える。偏った立場で考えず、それぞれの地域の歴史・文化に理解を示せること。
技能・表現	略地図を描くことが出来ること。 身近な地域の調査については、計画の企画・立案・実行・発表を行なう。
知識・理解	これからの国際社会・地球環境などを考えるために必要な基礎知識を身につける。

5 担当者からのメッセージ

<p>地理は、現代の国際社会がどのような課題を抱えているのかを認識するための教科です。歴史や政治・経済を理解するためにも必要になってくる教科です。先日、イラクや北朝鮮の位置を知らない学生が数多くいるという新聞記事を目にしましたが、頭の中で地図を描くことが出来なければ、国際社会が抱える諸問題について理解することは出来ません。1年間地理を学んで、これからの国際社会と日本について考えるための基礎的な知識を身に付けてください。</p>
